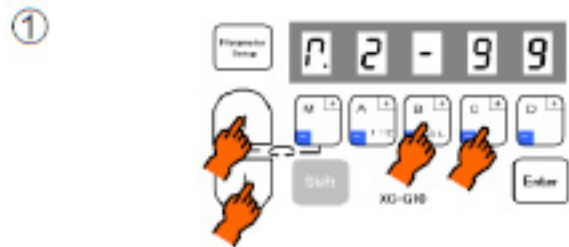


設定データをセーブしたいとき

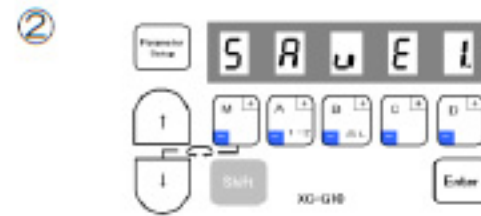
1. プログラムモード [1] の使い方

設定したデータを保存（セーブ）したいとき……機能設定 [SAVE*]

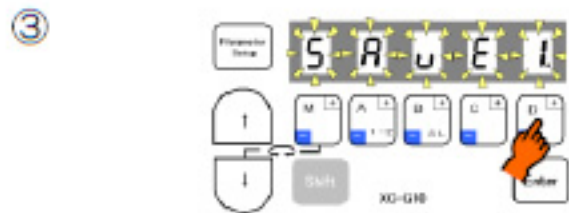
（[SAVE1] と [SAVE2] の2種類のデータを保存できます。読み出しもそれぞれ [SAVE1] は [LOAD1] で、[SAVE2] は [LOAD2] により行なえます。）



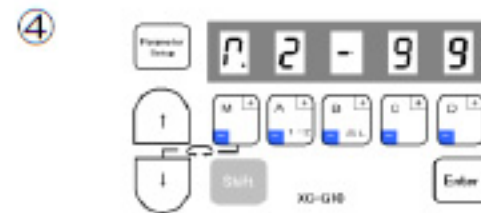
*プログラムモード [1] にする。
（[↓] + [↑] + [B] + [C] キー）



*プログラムモード [1] に変わる。



* [D] キーを押し続けると [SAVE 1.] が点滅し、保存処理を行なう。



* [D] キーをさらに押し続ける（2秒以上）と通常モードへもどる。（処理完了）

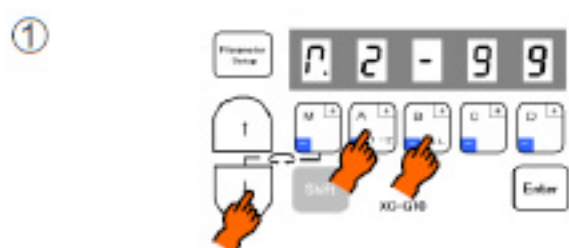
説明

- A. 設定されている現在のデータを簡易設定としてセーブできます。
[SAVE*] 表示中に [D] キーを2秒以上押し続けて表示が通常モードに戻った時、設定データのセーブが完了します。
- B. 表示が [SAVE*] の状態より、保存しないで通常モードにするには、[↓] キーを押しながら [↑] キーを同時に押します。
この場合、設定データはセーブされません。
- C. セーブされた設定データは、プログラムモード [1] の簡易設定 [LOAD1] または [LOAD2] に記憶され、プログラムモード [1] で [LOAD1] または [LOAD2] を選択することにより、読み出すことができます。
（工場出荷時に簡易設定 [LOAD1] には [412B] のデータが、[LOAD2] には [280M] のデータが格納されています。）

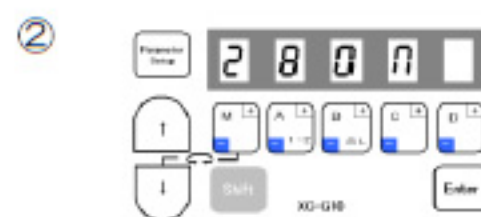
ご注意

この機能設定 [SAVE*] を行うと、設定前にプログラムモード [1] の簡易設定 [LOAD*] に記憶されていた設定内容は全てクリアされて、新たに現在の設定データを簡易設定 [LOAD*] に記憶保存します。現在の設定データを確認した上で、操作を行ってください。

- D. [SAVE*] 機能でセーブした設定データを読み出したい場合
下記の手順（プログラムモード [1]）により、上記 [SAVE*] 機能でセーブした設定データを読み出すことができます。



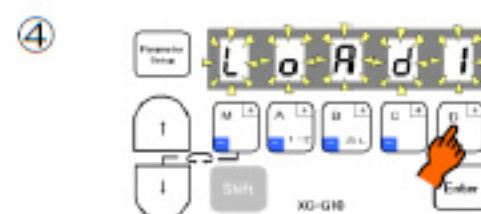
*プログラムモード [1] にする。
（[↓] + [A] + [B] キー）



*プログラムモード [1] に変わる。



* [↑] キーを押し、機能を [LOAD 1] にする。



* [D] キーを押し続けると [LOAD 1] が点滅し、読み出し処理を行なう。



* [D] キーをさらに押し続ける（2秒以上）と通常モードへもどる。（処理完了）